

第3章 緑被の状況

3-1 調査の方法

1) 航空写真の撮影

航空写真の撮影を GNSS/IMU^{※1} 装置を搭載した計測機器を用いて、平成 29 年 6 月 16 日に実施した。撮影の諸元については表 3-1、撮影実施図を図 3-3 に示す。

表 3-1 航空写真撮影の諸元

項 目	摘 要
撮 影 範 囲	中央区全域 (10.115 k m ²)
撮 影 時 期	平成 29 年 6 月 16 日 午後 1 時～2 時 (晴れ)
撮 影 コ ー ス	南北コース 13 コース
撮 影 重 複 度	オーバーラップ(80%)、サイドラップ(60%)
デ ジ タ ル 計 測 機 器	デジタル航空カメラ (UltraCamE)
撮 影 高 度	約 1,900m
取 得 画 像 デ ー タ	RGB(カラー)/NIR(近赤外線)を同時取得
地 上 解 像 度	約 10 c m
地 上 検 証 点	5 点

航空写真撮影により取得した画像に、正射投影変換処理(オルソ処理)を行い、都市計画図の図郭を基にカラーデジタルオルソ画像^{※2}および赤外カラーデジタルオルソ画像^{※3}を作成した。なお、デジタルオルソ精度は、地図情報レベル 1000^{※4}相当(「国土交通省国土地理院デジタルオルソ作成の公共測量作業マニュアル」の基準による)とした。

※1 GNSS/IMU は、衛星測位による航空カメラの位置と、機体の姿勢を記録することができ、撮影された写真の位置を決定するために必要な情報を提供するものである。

※2 カラーデジタルオルソ画像(図 3-1)は、上空から撮影した画像の地形の歪みを補正し、地形図と整合するよう調整した画像である。

※3 赤外カラーデジタルオルソ画像(図 3-2)は、近赤外、可視域赤、可視域緑の波長帯で撮影した画像を、それぞれ赤、緑、青のチャンネルに合成し正射変換(オルソ変換)したもので、植生調査によく用いられる。

※4 デジタル化された地図データの位置や高さの精度を示す指標である。



図 3-1 カラーデジタルオルソ画像



図 3-2 赤外カラーデジタルオルソ画像

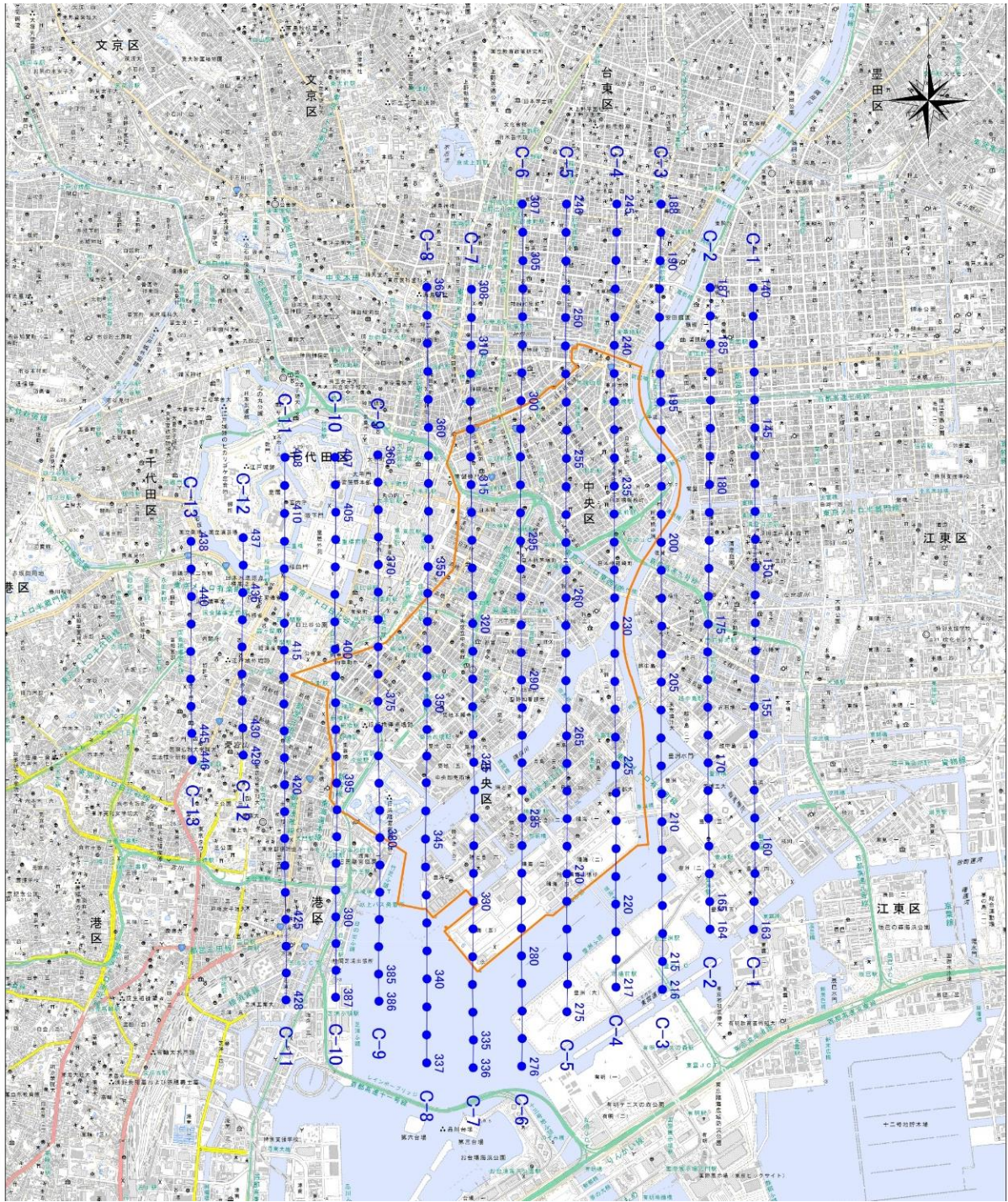


図3-3 航空写真撮影実施図

2) 緑被データの作成

図3-4に緑被地等の分類、表3-2に緑被地と非緑被地の区分と定義を示す。また、緑被地の考え方を図3-5に示す。本調査での緑被データ作成の対象となるのは、自然面下の緑被地と非緑被地である。

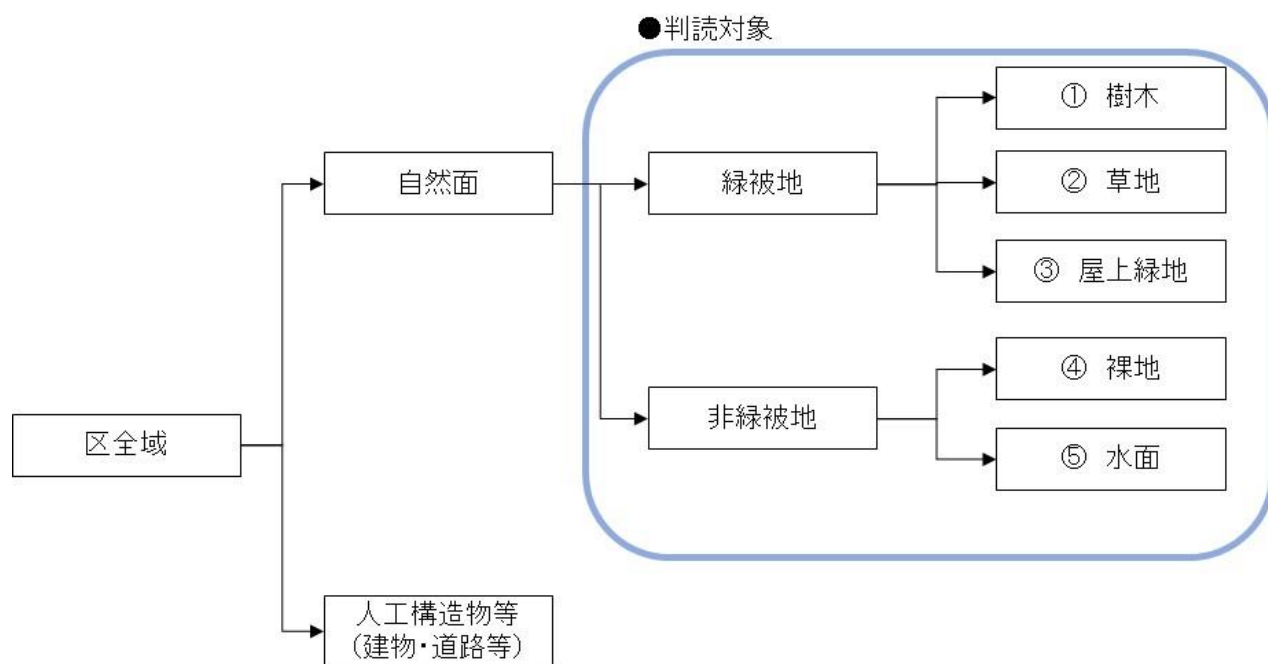


図3-4 緑被地等の分類

表3-2 緑被地の区分と定義

区分項目		区分項目の定義
緑被地	① 樹木	樹木、樹林に覆われた部分
	② 草地	草本類・芝・地被類に覆われた部分
	③ 屋上緑地	構造物上に植栽された樹木被覆地、草地、地被類、プランター等で面的に広がりをもつもの
非緑被地	④ 裸地	植生のない未舗装地 公園やグラウンドの土裸地やダスト裸地、未舗装の駐車場、造成地など
	⑤ 水面	公園区域内の池、河川、運河 (学校・公園等のプールは含まない)

3) 緑被面積の集計

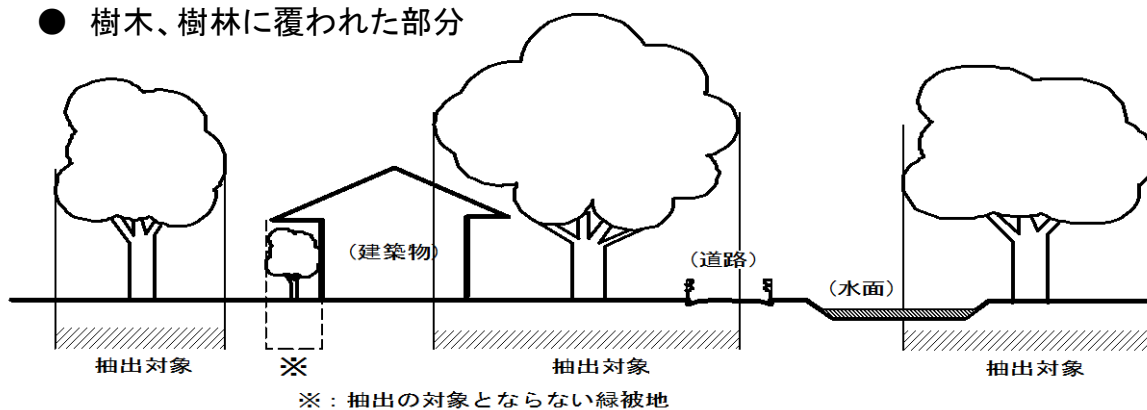
緑被データと以下に示す情報を用いて緑被面積および緑被率を求めた。集計単位は以下の通りである。

- 町丁目別
- 地区別
- 土地利用別

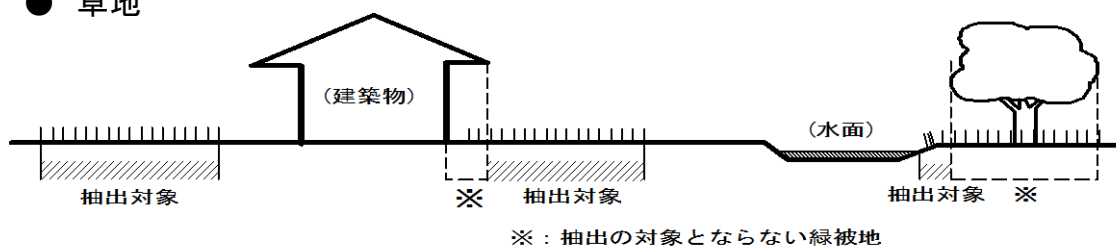
4) 緑被分布図の作成

緑被データと 1/2, 500 都市計画図データを重ね合わせて緑被分布図を作成した。都市計画図データは東京都都市計画基本図データを用いた。

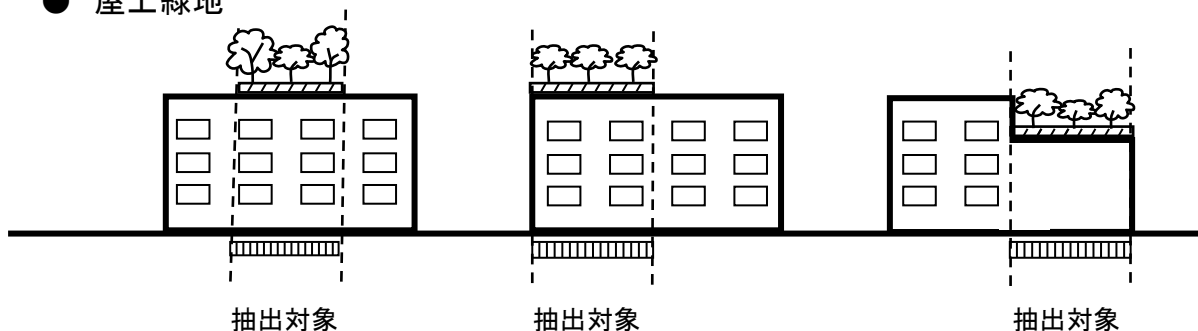
● 樹木、樹林に覆われた部分



● 草地



● 屋上緑地



出典：「緑被率標準調査マニュアル」東京都環境保全局（昭和 63 年）

図 3-5 緑被地の考え方

3-2 区全体の緑被の現況

- 本区の緑被面積は 107.78ha、緑被率は 10.7%
- 内訳は樹木被覆地が 80.23ha で区全体の面積の 7.9%、草地が 19.22ha で 1.9%、屋上緑地は 8.33ha で 0.8%

中央区全体の緑被地等の現況を表 3-3、構成比を図 3-6 に示す。

表 3-3 区全体の緑被地等の現況

区 分		面積(ha)	比率(%)
緑被地		107.78	10.7
	樹木	80.23	7.9
	草地	19.22	1.9
	屋上緑地	8.33	0.8
非緑被地		903.72	89.3
	裸地	25.88	2.6
	水面	139.09	13.8
	人工構造物等 (建物・道路等)	738.75	73.0
区全体		1,011.50	100.0

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

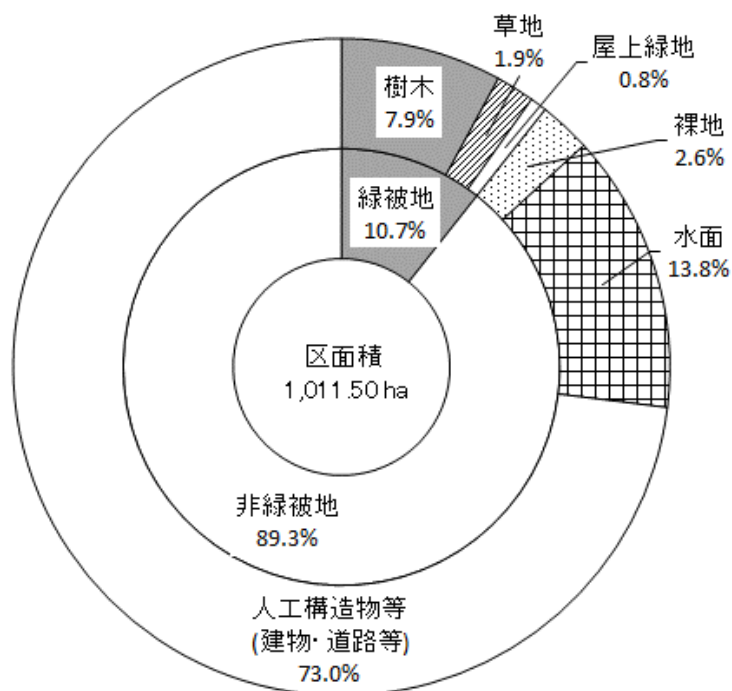


図 3-6 区全体の緑被地等の構成比

図 3-7 に平成 29 年度緑被分布図を示す。

中央区では、大規模な緑被地が区南部に集中して分布している。特に東京湾沿岸や隅田川沿いに大規模な緑被がみられる。小規模な樹木のまとまりや、街路樹などによる列状の緑被地、屋上緑地は区全域にわたってみられる。



図3-7 平成29年度緑被分布図

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。
(承認番号) 29都市基交第93号

3-3 地区別の緑被の現況

- 最も緑被率が高い地区は築地地区の 21.5%
- 最も緑被率が低い地区は日本橋問屋街地区の 4.3%

本区を 13 地区に区分した地区別の緑被の状況を表 3-4、地区別の緑被構成比を図 3-8 に示す。

表 3-4 地区別の緑被の状況によると 13 地区のうち緑被率が最も高いのは築地地区の 21.5%、次いで晴海地区の 18.3%、佃地区の 15.6%であった。築地地区は、地区の緑被面積 276,897 m²のうち、都立浜離宮恩賜庭園が 205,215.72 m²で約 74%を占めている。また、晴海地区や佃地区では、晴海臨海公園や石川島公園など比較的規模の大きな公園や再開発事業等に伴う民間緑地の整備などにより、緑被率の数値が高くなっている。

一方、緑被率が最も低い地区は、日本橋問屋街地区の 4.3%であった。次いで日本橋兜町・茅場町地区 5.6%、日本橋本石町・室町・本町地区 5.8%となっている。

緑被地の内訳をみると、樹木は都立浜離宮恩賜庭園を有する築地地区に 209,717 m²が分布し、晴海地区の 108,609 m²と合わせて、この 2 地区で区全体の樹木面積の 40%近くを占めている。

草地の面積では、晴海地区が最も多く 92,324 m²、次いで築地地区の 62,447 m²となっている。このほか、佃地区、勝どき・豊海地区、日本橋人形町・浜町河岸地区にそれぞれ 4,000 m²以上の草地が分布しており、これらの 5 地区で区全体の草地の 91%を占めている。

屋上緑地は、晴海地区が 22,542 m²であり、他地区と比較して突出して面積が大きい。屋上緑地が 5,000 m²以上分布している地区は、晴海地区以外にも 6 地区あり、区全域に屋上緑地が分布していることが分かる。

図 3-8 地区別の緑被構成比をみると、樹木の構成比は晴海地区を除いた全地区で 70%以上となっている。特に、日本橋兜町・茅場町地区、新川地区、日本橋人形町・浜町河岸地区、京橋地区、月島地区で樹木の構成比が高くなっている。

草地の構成比が最も高いのは晴海地区で、地区の緑被地の 41.3%が草地である。次いで、築地地区で 22.6%である。これらの地区には、大規模な公園や開発事業などによる草地や芝生広場などが分布している。

屋上緑地の構成比が最も高いのは、銀座地区の 18.0%であり、次いで東京駅前地区、日本橋問屋街地区、日本橋本石町・室町・本町地区でいずれも 15%を超えている。これらの地区は、商業・業務系のビルなどが建ち並んでいるため緑被率は比較的低いですが、施設の屋上等を活用した緑地整備が進んでいることが伺える。

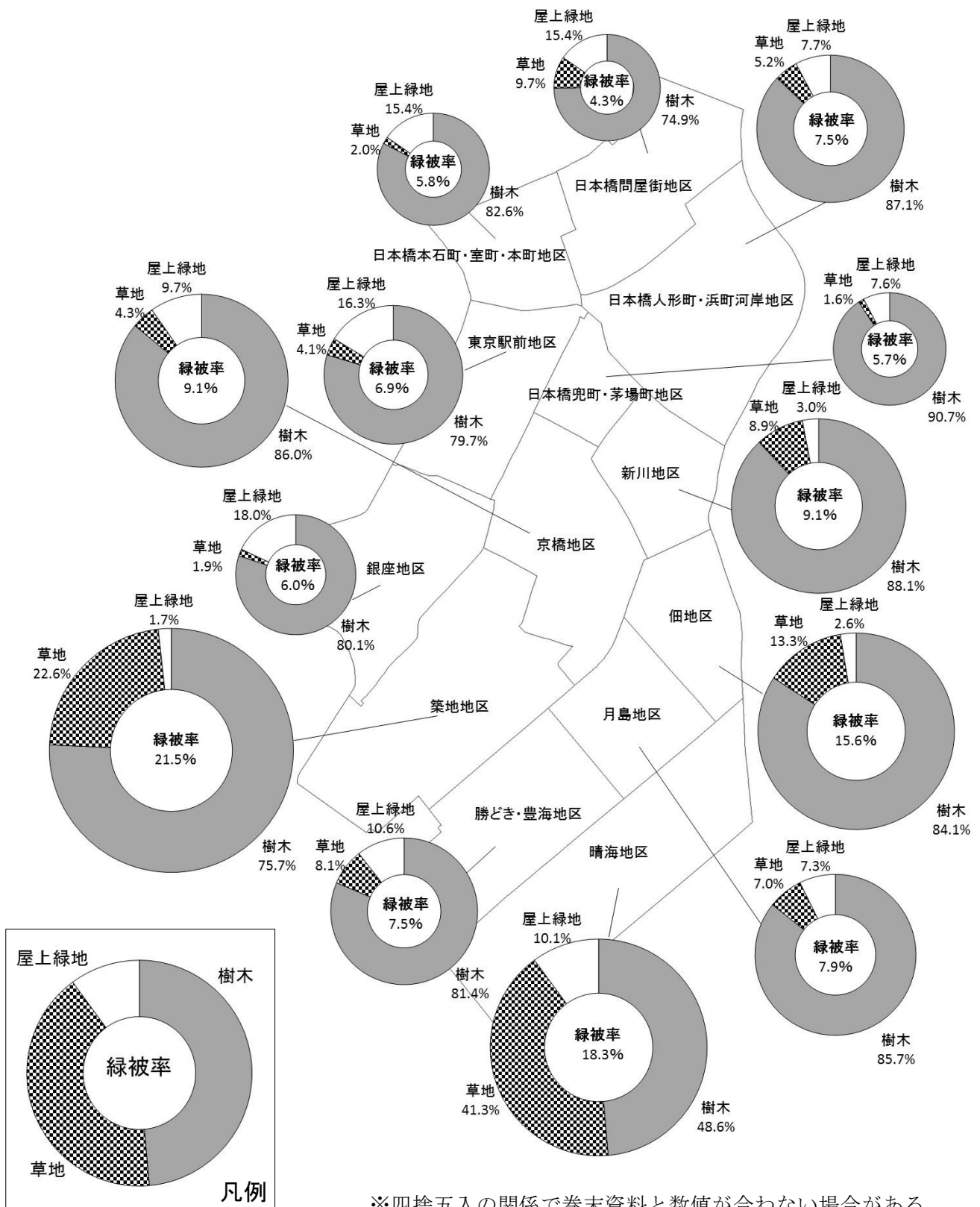
表 3-4 地区別の緑被の状況

上段：面積(m²) 下段：地区面積に対する割合(%)

地区名	地区面積 (m ²)				緑被地	非緑被地
		樹木	草地	屋上 緑地		
日本橋問屋街 地区	804,452	25,862	3,349	5,335	34,546	769,906
		3.2	0.4	0.7	4.3	95.7
日本橋本石町・ 室町・本町地区	477,972	23,005	562	4,278	27,845	450,127
		4.8	0.1	0.9	5.8	94.2
日本橋兜町・ 茅場町地区	279,054	14,333	257	1,205	15,795	263,259
		5.1	0.1	0.4	5.6	94.4
東京駅前地区	688,490	37,891	1,932	7,745	47,568	640,922
		5.5	0.3	1.1	6.9	93.1
日本橋人形町・ 浜町河岸地区	1,268,650	83,087	4,939	7,383	95,409	1,173,241
		6.5	0.4	0.6	7.5	92.5
銀座地区	860,408	41,116	951	9,243	51,310	809,098
		4.8	0.1	1.1	6.0	94.0
新川地区	476,482	37,975	3,853	1,300	43,128	433,354
		8.0	0.8	0.3	9.1	90.9
京橋地区	905,049	70,559	3,511	7,976	82,046	823,003
		7.8	0.4	0.9	9.1	90.9
築地地区	1,290,408	209,717	62,447	4,733	276,897	1,013,511
		16.3	4.8	0.4	21.5	78.5
佃地区	489,511	64,167	10,130	1,967	76,264	413,247
		13.1	2.1	0.4	15.6	84.4
月島地区	516,076	34,958	2,869	2,961	40,788	475,288
		6.8	0.6	0.6	7.9	92.0
勝どき・ 豊海地区	834,436	51,056	5,057	6,636	62,749	771,687
		6.1	0.6	0.8	7.5	92.5
晴海地区	1,224,012	108,609	92,324	22,542	223,475	1,000,537
		8.9	7.5	1.8	18.3	81.8
区全体	10,115,000	802,335	192,181	83,304	1,077,820	9,037,180
		7.9	1.9	0.8	10.7	89.3

※四捨五入の関係で行列の合計値が合わない場合がある。

※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。



※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある

図 3-8 地区別の緑被構成比

3-4 町丁目別の緑被の現況

- 緑被率が高い町丁目は区南東部に多い
- 緑被率が5%未満の町丁目は区の北西部に多い

緑被率別の町丁目数を図3-9、町丁目別緑被率分布図を図3-10に示す。緑被率2.5%以上7.5%未満の町丁目が多くみられ、98町丁目のうち57町丁目で、全体の約58%であった。緑被率が高い町丁目は区南東部に集中している傾向がみられ、商業や業務系ビルが多く立ち並ぶ日本橋問屋街地区、京橋地区、銀座地区などには緑被率が2.5%未満の町丁目が多く分布している。

緑被率が高い順に並べたものを表3-5、緑被率が低い順に並べたものを表3-6に示す。緑被率が高い町丁目では、公園および開発事業に伴うまとまった緑被地がみられる。一方、緑被率が低い町丁目は江戸時代からの商業・文化などの要地、また地場産業により住・商・工が混在しており、まとまった緑被地が少なく、街路樹や屋上緑地等の規模の小さなものが多い。

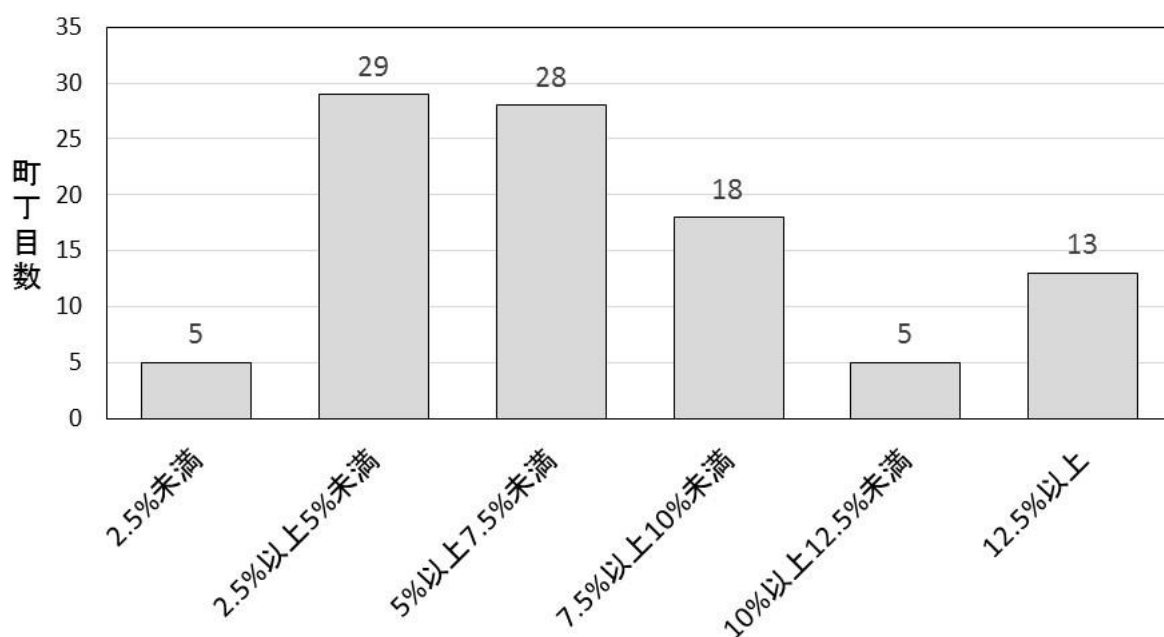


図3-9 緑被率別町丁目数

表 3-5 緑被率が高い町丁目

順位	町丁目	緑被率(%)
1	浜離宮庭園	73.7
2	佃一丁目	39.5
3	晴海二丁目	32.0
4	晴海四丁目	24.6
5	晴海三丁目	19.9

表 3-6 緑被率が低い町丁目

順位	町丁目	緑被率(%)
1	日本橋室町三丁目	1.2
2	入船三丁目	2.2
2	湊二丁目	2.2
4	日本橋横山町	2.4
5	日本橋馬喰町二丁目	2.5

3－5 土地利用別の緑被の現況

1) 土地利用別の緑被状況

- 公園の緑被率は最も高く 67.4%
- 学校の緑被率は 10.0%
- 道路・河川の緑被率は 7.0%
- 住宅・事業所・社寺等の緑被率は 8.4%

公園、学校、道路・河川、住宅・事業所・社寺等別の緑被状況と緑被率を表 3-7、図 3-11 に示す。

公園の緑被率は 67.4%で、次いで学校が 10.0%、道路・河川および住宅・事業所・社寺等では、それぞれ 7.0%、8.4%であった。公園内の樹木被覆率、草地被覆率はそれぞれ 48.9%、17.8%であった。屋上緑地率については学校が 2.0%と最も高い値となっており、次いで住宅・事業所・社寺等が 1.5%であった。

表 3-7 土地利用別の緑被状況

上段：面積(ha) 下段：土地利用別面積に対する割合(%)

土地利用	面積 (ha)	緑被地				非緑被地
		樹木	草地	屋上 緑地	緑被地	
公園	49.22	24.09	8.74	0.33	33.16	16.06
		48.9	17.8	0.7	67.4	32.6
学校	15.97	1.23	0.05	0.32	1.60	14.37
		7.7	0.3	2.0	10.0	90.0
道路・河川	448.37	27.69	3.57	0.05	31.31	417.06
		6.2	0.8	0.01	7.0	93.0
住宅・事業所・ 社寺等	497.94	27.22	6.86	7.63	41.71	456.23
		5.5	1.4	1.5	8.4	91.6
合計	1011.50	80.23	19.22	8.33	107.78	903.72
		7.9	1.9	0.8	10.7	89.3

※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。

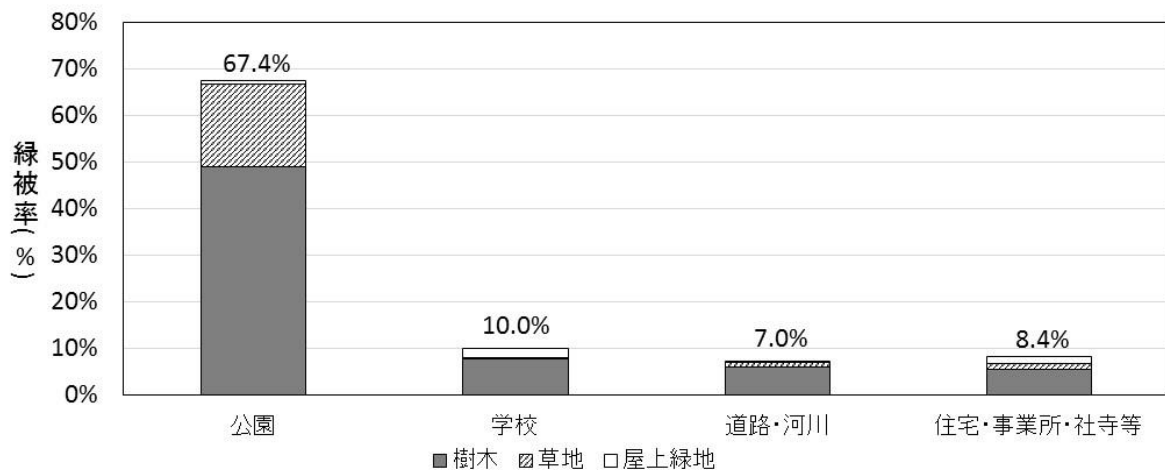


図 3-11 土地利用別の緑被率

2) 地区別土地利用の緑被状況

- 築地地区は公園の緑被構成比が最も高く 69.2%
- 銀座地区は学校の緑被構成比が最も高く 4.3%
- 4地区で、道路・河川の緑被構成比は 50%以上
- 築地地区以外の地区は、住宅・事業所・社寺等の緑被構成比が 30～60%

地区別の土地利用別緑被状況を表 3-8、地区別の土地利用の緑被構成比を図 3-12 に示す。都立浜離宮恩賜庭園を有する築地地区は、公園の緑被の構成比が 69.2%と最も高かった。また、日本橋人形町・浜町河岸地区、佃地区、晴海地区においては公園が占める緑被の構成比が 20%を超えている。一方、銀座地区では学校が 4.3%で他の地区に比べ高かった。

道路・河川の緑被については、日本町本石町・室町・本町地区、日本橋兜町・茅場町地区、東京駅前地区、銀座地区では地区の緑被の 50%以上を占めていた。

住宅・事業所・社寺等の緑被の比率は、築地地区の 14.2%を除き、30%～60%程度であった。

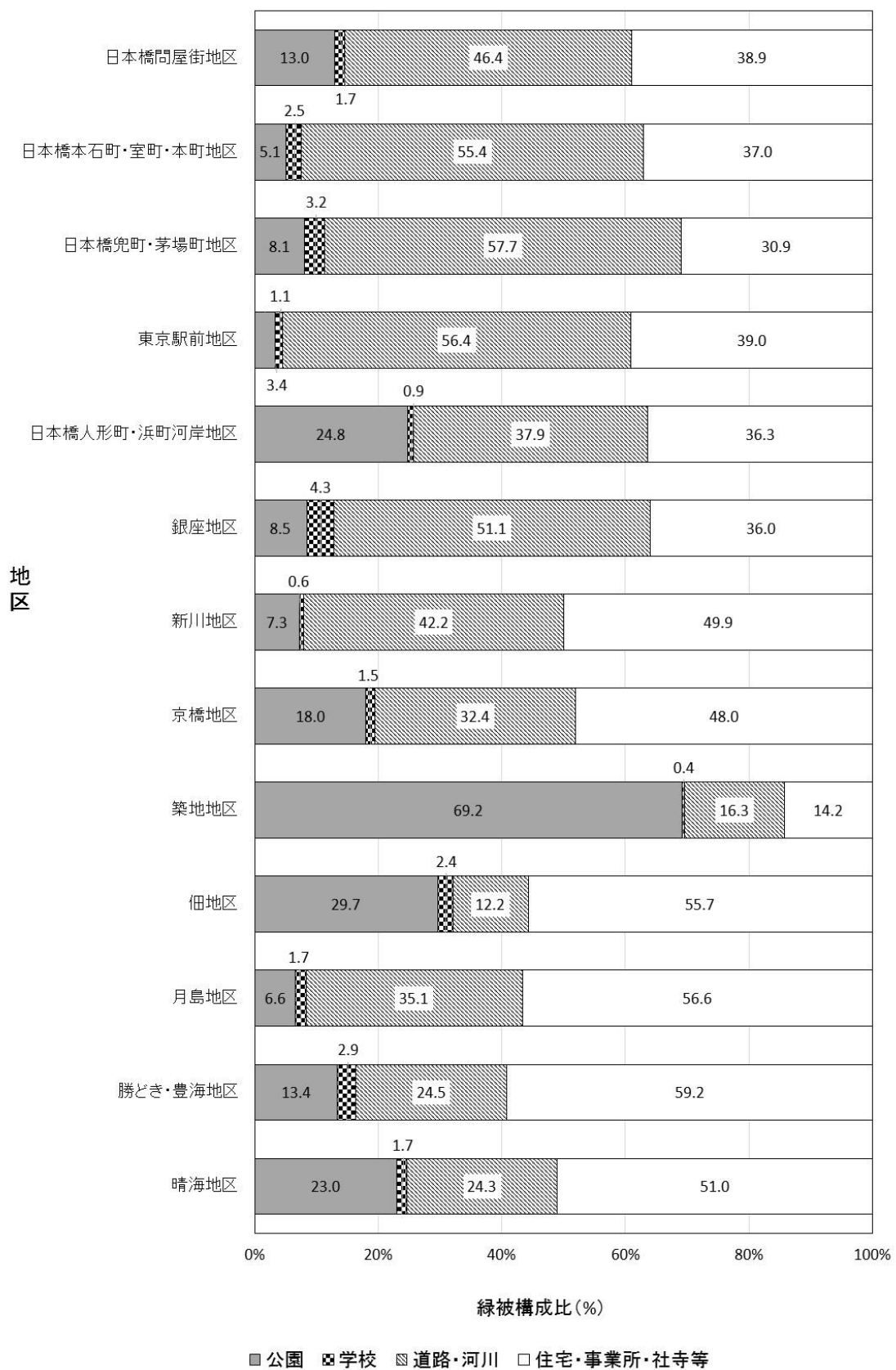
表 3-8 地区別の土地利用別緑被状況

上段：面積（㎡） 下段：各地区の緑被の土地利用別割合（％）

地区名	地区面積 (㎡)	緑被合計 (㎡)	公園	学校	道路・ 河川	住宅・ 事業所・ 社寺等
日本橋問屋街 地区	804,452	34,546	4,492	570	16,035	13,449
			13.0	1.7	46.4	38.9
日本橋本石町・ 室町・本町地区	477,972	27,845	1,419	697	15,426	10,303
			5.1	2.5	55.4	37.0
日本橋兜町・ 茅場町地区	279,054	15,795	1,287	500	9,121	4,887
			8.1	3.2	57.7	30.9
東京駅前地区	688,490	47,568	1,610	538	26,846	18,573
			3.4	1.1	56.4	39.0
日本橋人形町・ 浜町河岸地区	1,268,650	95,409	23,659	890	36,204	34,656
			24.8	0.9	37.9	36.3
銀座地区	860,408	51,310	4,373	2,231	26,241	18,465
			8.5	4.3	51.1	36.0
新川地区	476,482	43,128	3,147	275	18,190	21,516
			7.3	0.6	42.2	49.9
京橋地区	905,049	82,046	14,800	1,239	26,613	39,393
			18.0	1.5	32.4	48.0
築地地区	1,290,408	276,897	191,571	1,001	45,051	39,275
			69.2	0.4	16.3	14.2
佃地区	489,511	76,264	22,649	1,807	9,342	42,467
			29.7	2.4	12.2	55.7
月島地区	516,076	40,788	2,706	680	14,297	23,105
			6.6	1.7	35.1	56.6
勝どき・ 豊海地区	834,436	62,749	8,427	1,831	15,356	37,135
			13.4	2.9	24.5	59.2
晴海地区	1,224,012	223,475	51,455	3,709	54,372	113,939
			23.0	1.7	24.3	51.0
合計	10,115,000	1,077,820	331,595	15,968	313,094	417,163
			30.8	1.5	29.0	38.7

※四捨五入の関係で行列の合計値が合わない場合がある。

※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。



※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。

図3-12 地区別の土地利用の緑被構成比

3) 詳細土地利用別の緑被状況

- 公共用地の緑被率は 12.0%、商業用地は 5.5%、住宅用地は 11.7%、工業用地は 3.5%
- 最も高い緑被率は、公園・運動施設で 67.4%

第1章1-5に示した「表1-4 詳細土地利用区分」に則って、詳細土地利用別の緑被状況を表3-9、詳細土地利用別の緑被率を図3-13に示す。

区分ごとに見ると、公共用地の緑被率は 12.0%、商業用地は 5.5%、住宅用地は 11.7%、工業用地は 3.5%であった。

さらに施設を主用途別に細分類してみると、「公共用地」のうち、医療施設の緑被率が 25.8%と最も高く、次いで処理施設が 21.9%であった。

「商業用地」では、興行施設の面積規模が 0.26ha と小さいものの、緑被率は 15.8%と最も高かった。また事務所建築物は面積が 186.32ha、緑被率は 5.6%だった。一方、商業施設の屋上緑地率は 4.0%で他の商業用地の施設より高かった。

「住宅用地」は独立住宅の緑被率が 3.9%、集合住宅は 13.1%だった。

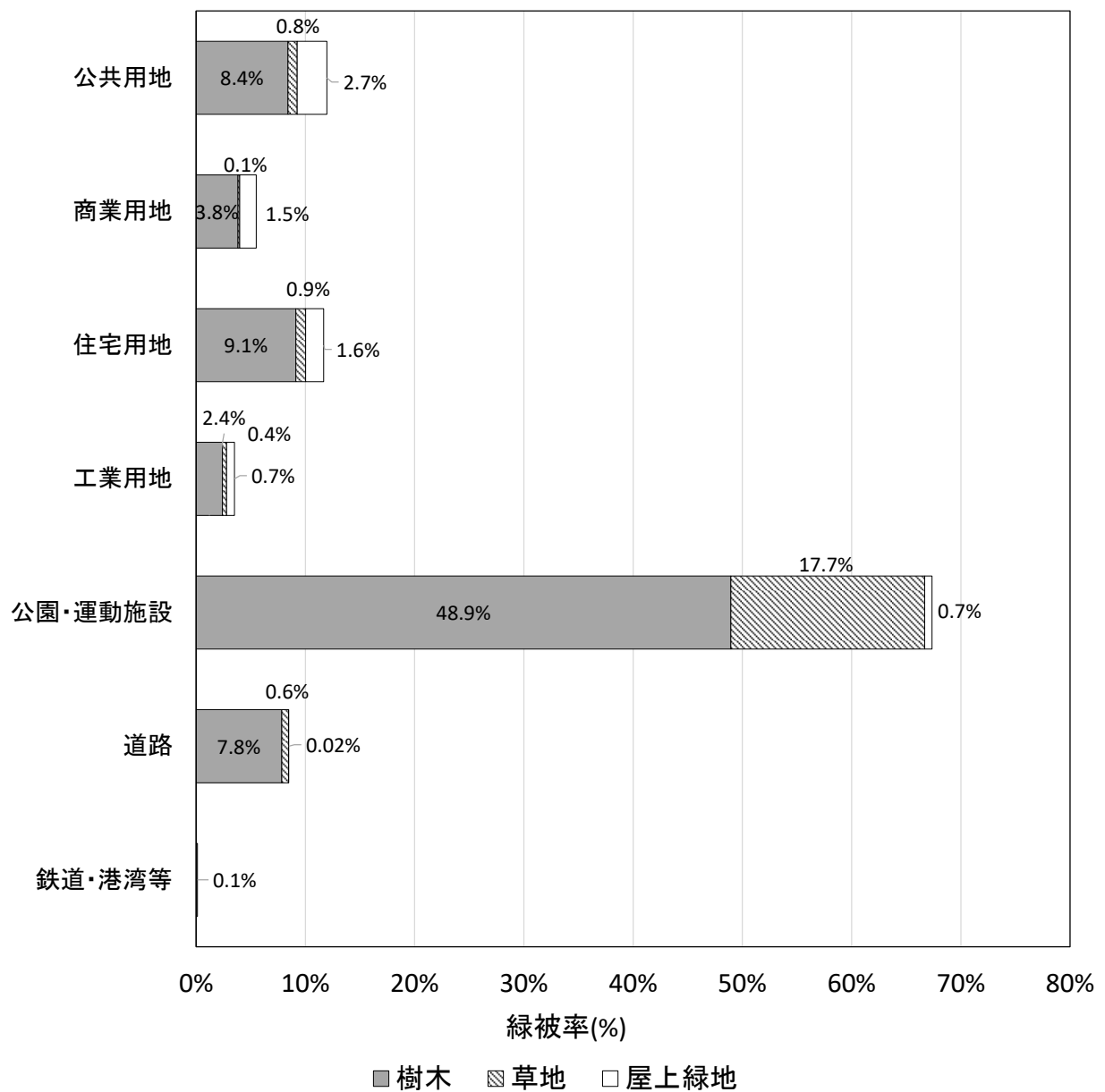
「公園・運動施設」は、緑被率が 67.4%と全ての施設の中で最も高かった。また「道路」は、面積が 307.53ha で区面積の約 30%を占めており、緑被率は 8.5%だった。そのうち街路樹など樹木による被覆率が 7.8%だった。

表 3-9 詳細土地利用別の緑被状況

上段：面積(ha) 下段：面積に対する割合(%)

区分	主用途	細分類	面積 (ha)	樹木	草地	屋上緑地	緑被地	裸地	水面	
公共用地	官公庁施設		15.28	0.92 6.0%	0.19 1.2%	0.27 1.8%	1.38 9.1%	0.03 0.2%	0.01 0.1%	
	教育文化施設	教育施設	15.97	1.23 7.7%	0.04 0.3%	0.32 2.0%	1.60 10.0%	1.22 7.6%	0.01 0.1%	
			文化施設	1.12	0.11 10.0%	0.00 0.0%	0.04 3.4%	0.15 13.3%	0.0006 0.1%	0 0.0%
		宗教施設	5.02	0.77 15.3%	0.07 1.4%	0.01 0.3%	0.85 17.0%	0.34 6.8%	0.0034 0.1%	
			厚生医療施設	5.76	1.17 20.2%	0.07 1.2%	0.25 4.4%	1.49 25.8%	0 0.0%	0.00006 0.0%
				厚生施設	1.98	0.22 11.1%	0.01 0.3%	0.09 4.6%	0.32 16.0%	0 0.0%
	供給処理施設	供給施設	12.94	0.11 0.9%	0.01 0.05%	0.30 2.3%	0.42 3.2%	0.0005 0.0%	0.0083 0.1%	
			処理施設	7.47	0.98 13.1%	0.16 2.2%	0.49 6.6%	1.64 21.9%	0.015 0.2%	0.0083 0.1%
		計		65.54	5.51 8.4%	0.55 0.8%	1.78 2.7%	7.84 12.0%	1.6061 2.5%	0.04006 0.1%
	商業用地	事務所建築物		186.32	7.90 4.2%	0.29 0.2%	2.34 1.3%	10.53 5.6%	1.31 0.7%	0.07 0.0%
		専用商業施設	商業施設	21.69	0.68 3.1%	0.02 0.1%	0.86 4.0%	1.56 7.2%	0.06 0.3%	0.0005 0.002%
			公衆浴場等	0.12	0.004 3.4%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0.004 3.4%	0 0.0%	0 0.0%
		住商併用施設		37.80	0.78 2.1%	0.05 0.1%	0.51 1.3%	1.34 3.6%	0.26 0.7%	0 0.0%
		宿泊・遊興施設	宿泊施設	6.94	0.34 4.9%	0.02 0.3%	0.18 2.6%	0.54 7.8%	0.3 4.3%	0 0.0%
			遊興施設	4.13	0.12 2.9%	0.001 0.01%	0.03 0.7%	0.15 3.6%	0.0017 0.04%	0 0.0%
		スポーツ興行施設	スポーツ施設	0.11	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
興行施設			0.26	0.04 13.7%	0.002 0.9%	0.003 1.2%	0.04 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	
計		257.37	9.86 3.8%	0.38 0.1%	3.92 1.5%	14.17 5.5%	1.9317 0.8%	0.0705 0.03%		
住宅用地		独立住宅		17.32	0.51 2.9%	0.06 0.3%	0.11 0.6%	0.67 3.9%	0.28 1.6%	0.0022 0.01%
		集合住宅		94.94	9.74 10.3%	0.95 1.0%	1.73 1.8%	12.42 13.1%	0.27 0.3%	0.15 0.2%
		計		112.26	10.25 9.1%	1.01 0.9%	1.84 1.6%	13.09 11.7%	0.55 0.5%	0.1522 0.1%
		工業用地	専用工場		1.86	0.03 1.5%	0.00 0.0%	0.001 0.1%	0.03 1.7%	0.01 0.5%
住居併用工場			2.39	0.03 1.4%	0.002 0.1%	0.01 0.3%	0.04 1.8%	0.06 2.5%	0 0.0%	
倉庫・運輸関係施設			運輸施設等	6.20	0.17 2.7%	0.01 0.1%	0.14 2.2%	0.31 5.1%	0.0017 0.0%	0.0002 0.003%
			倉庫施設等	13.75	0.35 2.5%	0.09 0.6%	0.03 0.2%	0.46 3.3%	0.02 0.1%	0.002 0.01%
計			24.20	0.58 2.4%	0.09 0.4%	0.17 0.7%	0.85 3.5%	0.0917 0.4%	0.0022 0.01%	
未利用地等	屋外利用地・仮設建物		16.89	0.73 4.3%	0.51 3.0%	0.04 0.3%	1.28 7.6%	0.36 2.1%	0.0002 0.001%	
	公園、運動施設		49.23	24.09 48.9%	8.74 17.7%	0.33 0.7%	33.16 67.4%	2.59 5.3%	0.22 0.4%	
	未利用地等		37.65	1.52 4.0%	4.36 11.6%	0.19 0.5%	6.08 16.2%	15.68 41.6%	0.31 0.8%	
	道路		307.53	24.07 7.8%	1.92 0.6%	0.05 0.02%	26.04 8.5%	3.04 1.0%	12.38 4.0%	
	鉄道・港湾等		0.66	0.001 0.1%	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0.001 0.1%	0 0.0%	0.03 4.6%	
	水面・河川・水路		140.18	3.61 2.6%	1.66 1.2%	0.00 0.0%	5.27 3.8%	0.04 0.03%	125.85 89.8%	
	その他		0.003	0.00 0.0%	0.00 0.0%	0.002 68.8%	0.002 68.8%	0 0.0%	0 0.0%	
	計		552.13	54.03 9.8%	17.18 3.1%	0.62 0.1%	71.84 13.0%	21.71 3.9%	138.7902 25.1%	
	合計	合 計		1,011.50	80.23 7.9%	19.22 1.9%	8.33 0.8%	107.78 10.7%	25.89 2.6%	139.06 13.7%

※四捨五入の関係で行列の合計値が合わない場合がある。

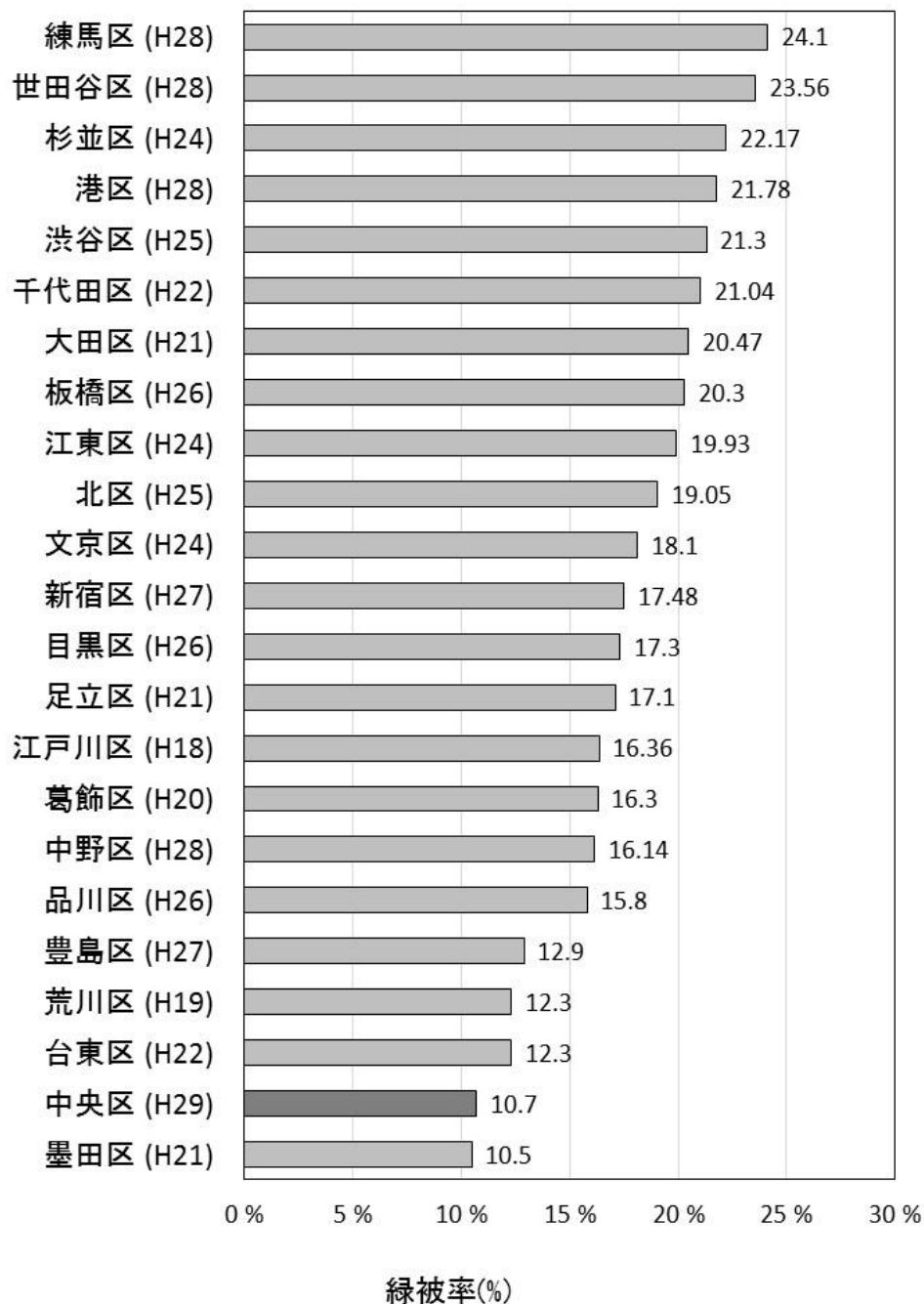


※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。

図 3-13 詳細土地利用別の緑被率（おもな主用途）

3-6 各区の緑被率

図3-14に23区の緑被率の比較を示す。調査年度や調査の手法、緑被の集計単位等に違いはあるが、中央区の緑被率10.7%は23区中22番目であった。



※各区のHPと聞き取り調査結果より

図3-14 23区の緑被率の比較

3-7 緑被の推移

1) 区全体の緑被の推移

- 区の緑被率(H29)は10.7%で調査開始の昭和61年度から増加傾向
- 樹木面積は平成16年度から10.23haの増加
- 草地面積は平成16年度から1.01haの増加
- 屋上緑地面積は平成16年度から4.63haの増加

区全体の緑被面積の推移を表3-10、表3-11 および図3-15 に示す。本区ではこれまで、昭和61年度を初回とし、平成3年度、平成8年度、平成16年度、平成29年度と5回調査を行った。その結果、緑被地面積、緑被率ともに前回の調査より増加傾向にあった。

平成16年度から平成29年度の間で、緑被地面積は15.87ha増加しており、これは日比谷公園ほぼ1個分に当たる。

緑被面積の増加の要因としては、おもに河川や運河沿いにおける公園の整備や、道路整備に伴う街路樹などの新規植栽、再開発事業等による緑被地の創出などが挙げられる。

緑被の項目別に推移をみると、「樹木」については、平成16年度から平成29年度にかけては10.23ha、調査初回の昭和61年度から平成29年度にかけては28.98ha増加している。

「草地」については、平成16年度から平成29年度にかけては1.01ha、調査初回の昭和61年度から平成29年度にかけては4.46ha増加している。ただし、土地利用上、一時的に草地として管理するものも含まれるため、緑被地としては流動的な面もある。

「屋上緑地」は平成8年度から新たに調査項目に加わったものである。調査初回の平成8年度から平成16年度にかけては2.28haの増加、平成16年度から平成29年度の間には4.63haの増加であった。

表 3-10 区全体の緑被の推移

単位：ha

調査年度 区分	昭和 61 年度	平成 3 年度	平成 8 年度	平成 16 年度	平成 29 年度
樹 木	51.25	53.44	51.80	70.00	80.23
草 地	14.76	20.28	20.94	18.21	19.22
屋上緑地	－	－	1.42	3.70	8.33
緑被地合計	66.01	73.72	74.16	91.91	107.78
緑被率	6.6%	7.3%	7.4%	9.1%	10.7%

※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。

表 3-11 区全体の緑被の増減推移

単位：ha

変化 区分	昭和 61 年度 →平成3年度	平成3年度 →平成8年度	平成8年度 →平成 16 年度	平成 16 年度 →平成 29 年度
樹 木	2.19	△ 1.64	18.20	10.23
草 地	5.52	0.66	△ 2.73	1.01
屋上緑地	－	1.42	2.28	4.63
緑被地合計	7.71	0.44	17.75	15.87
緑被率の増減	0.7 ポイント	0.1 ポイント	1.7 ポイント	1.6 ポイント

※屋上緑地は平成 8 年度から調査を開始した。

※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。

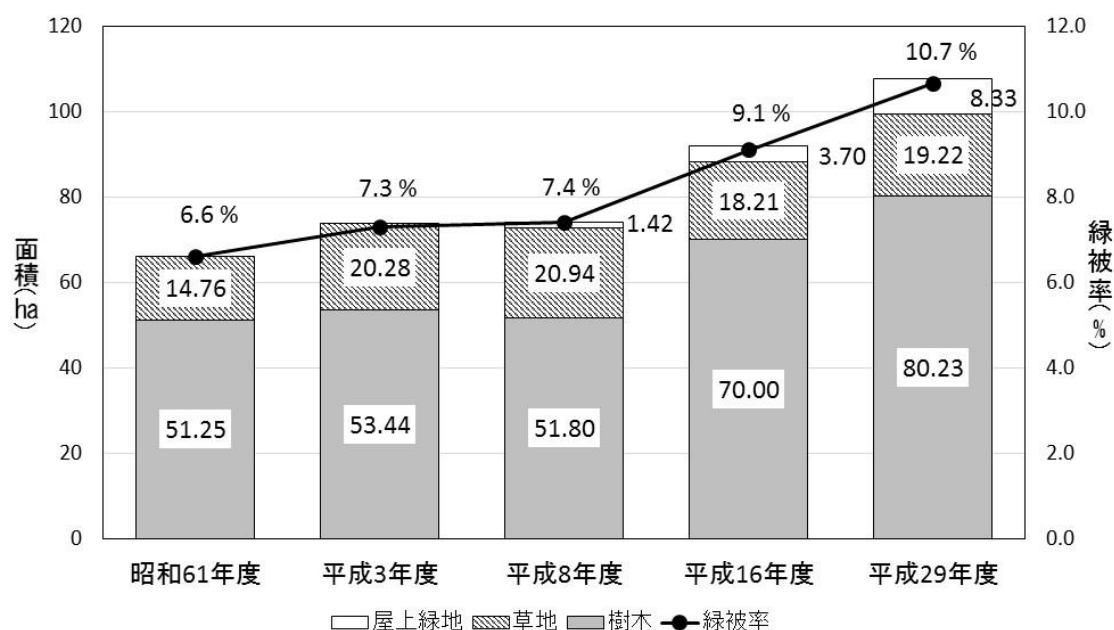


図 3-15 区全体の緑被推移

2) 地区別の緑被の推移

- 平成 16 年度から平成 29 年度の間に 13 地区中 12 地区で緑被面積の増加があった
- そのうち 10,000 m²以上緑被面積が増加している地区は 7 地区

地区別の緑被の推移を表 3-12 および図 3-16 に示す。

平成 16 年度から平成 29 年度の間に 13 地区のうち 12 地区で緑被面積および緑被率の増加がみられた。

最も増加面積が大きかったのは晴海地区で 36,387 m²、次いで東京駅前地区の 22,607 m²、日本橋人形町・浜町河岸地区の 19,769 m²であった。その他、10,000 m²以上緑被面積が増加している地区が 4 地区あり、全体的に緑被面積が増加していることがわかる。

一方、緑被面積が減少したのは、勝どき・豊海地区のみで、11,350 m²の減少であった。

緑被率からみると、最も増加率が大きかった地区は東京駅前地区で 3.3 ポイントの増加、次いで日本橋本石町・室町・本町地区の 2.9 ポイント、晴海地区の 2.4 ポイントであった。

表 3-12 地区別の緑被の推移

上段：面積（㎡） 下段：地区面積に対する緑被率（％）

地区	平成 16 年度 緑被地面積	平成 29 年度 緑被地面積	平成 16 年度→ 平成 29 年度 面積増減(㎡)	平成 16 年度→ 平成 29 年度 緑被率増減
日本橋問屋街 地区	24,928	34,546	9,618	1.2 ポイント
	3.1	4.3		
日本橋本石町・ 室町・本町地区	13,738	27,845	14,107	2.9 ポイント
	2.9	5.8		
日本橋兜町・ 茅場町地区	12,756	15,795	3,039	1.1 ポイント
	4.6	5.7		
東京駅前地区	24,961	47,568	22,607	3.3 ポイント
	3.6	6.9		
日本橋人形町・ 浜町河岸地区	75,640	95,409	19,769	1.5 ポイント
	6.0	7.5		
銀座地区	37,183	51,310	14,127	1.7 ポイント
	4.3	6.0		
新川地区	37,225	43,128	5,903	1.3 ポイント
	7.8	9.1		
京橋地区	68,706	82,046	13,340	1.5 ポイント
	7.6	9.1		
築地地区	267,061	276,897	9,836	0.8 ポイント
	20.7	21.5		
佃地区	66,706	76,264	9,558	2.0 ポイント
	13.6	15.6		
月島地区	29,062	40,788	11,726	2.3 ポイント
	5.6	7.9		
勝どき・ 豊海地区	74,099	62,749	△11,350	△1.4 ポイント
	8.9	7.5		
晴海地区	187,088	223,475	36,387	2.4 ポイント
	15.9	18.3		
区全体	919,153	1,077,820	158,667	1.6 ポイント
	9.1	10.7		

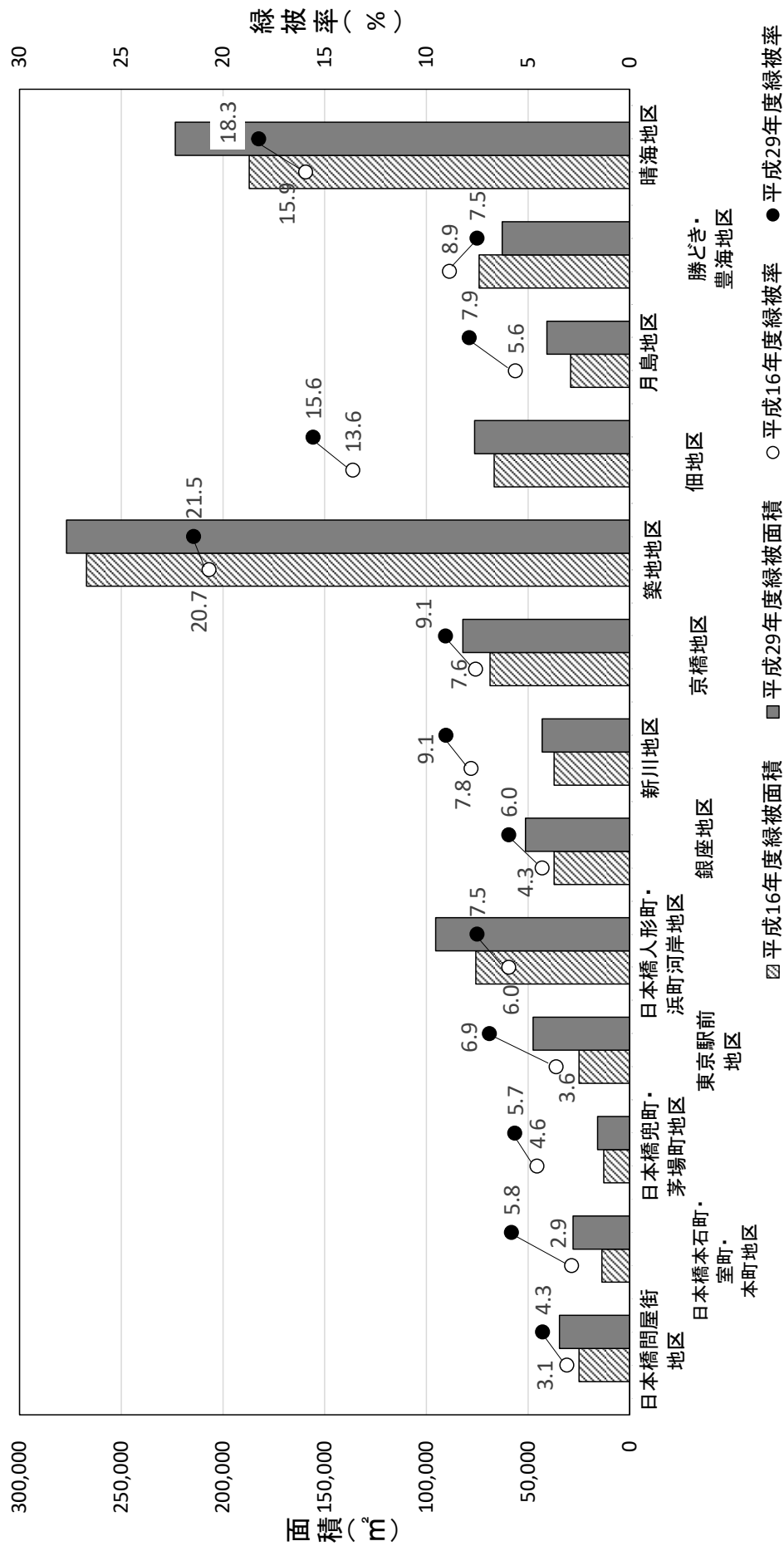


図 3-16 地区別の緑被の推移

3) 町丁目別の緑被の推移

- 平成 16 年度から平成 29 年度の間で増加がみられたのは 86 町丁目
- 緑被率が 5 ポイント以上増加した町丁目は 4 町丁目、5 ポイント以上減少した町丁目は 3 町丁目

平成 16 年度から平成 29 年度の間町丁目別の緑被率の変化を図 3-17 に示す。また、表 3-13 に緑被率が 5 ポイント以上増加した町丁目、表 3-14 に緑被率が 5 ポイント以上減少した町丁目を示す。

緑被率の増加がみられたのは 98 町丁目のうち 86 町丁目で、そのうち 5 ポイント以上の増加が 4 町丁目（晴海二丁目、晴海四丁目、日本橋室町二丁目、日本橋本石町一丁目）であった。一方、緑被率が減少したのは 12 町丁目で、5 ポイント以上の減少は 3 町丁目（晴海五丁目、勝どき六丁目、築地三丁目）であった。

表 3-13 緑被率が 5 ポイント以上増加した町丁目

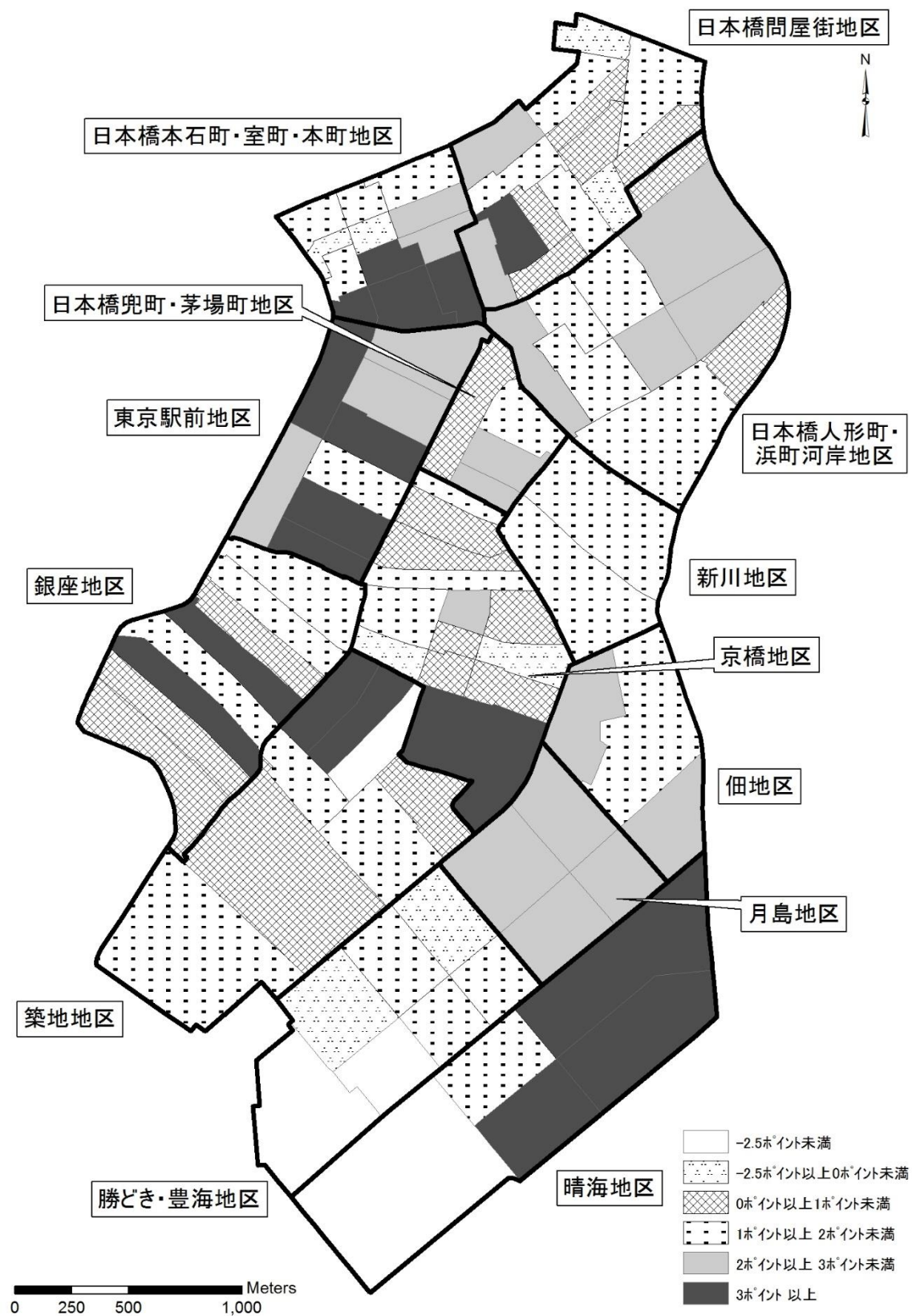
単位(ポイント)

町丁目	平成 16 年度→平成 29 年度 緑被率増減
晴海二丁目	12.6
晴海四丁目	12.0
日本橋室町二丁目	10.9
日本橋本石町一丁目	5.6

表 3-14 緑被率が 5 ポイント以上減少した町丁目

単位(ポイント)

町丁目	平成 16 年度→平成 29 年度 緑被率増減
晴海五丁目	△ 6.8
勝どき六丁目	△ 6.7
築地三丁目	△ 5.8



※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。

図 3-17 町丁目別緑被率変化

4) 土地利用別の緑被の推移

土地利用別の緑被の推移を表3-15 および図3-18 に示す。

表3-15 土地利用別の緑被の推移

上段：緑被面積(m²) 下段：緑被率(%)

土地利用	平成16年度	平成29年度	平成16年度→ 平成29年度 緑被面積増減 (m ²)	平成16年度→ 平成29年度 緑被率増減 (ポイント)
公園	346,435	331,595	△ 14,840	5.8
	61.6	67.4		
学校	16,782	15,968	△ 814	△ 1.2
	11.2	10.0		
道路・河川	260,083	313,094	53,011	1.5
	5.5	7.0		
住宅・事業所・ 社寺等	295,853	417,163	121,310	2.1
	6.3	8.4		
合計	919,153	1,077,820	158,667	1.6
	9.1	10.7		

※四捨五入の関係で巻末資料と数値が合わない場合がある。
 ※各土地利用別面積は東京都土地利用現況調査に基づき算出しているが、「公園」(平成16年度)については中央区政年鑑を基に算出している。

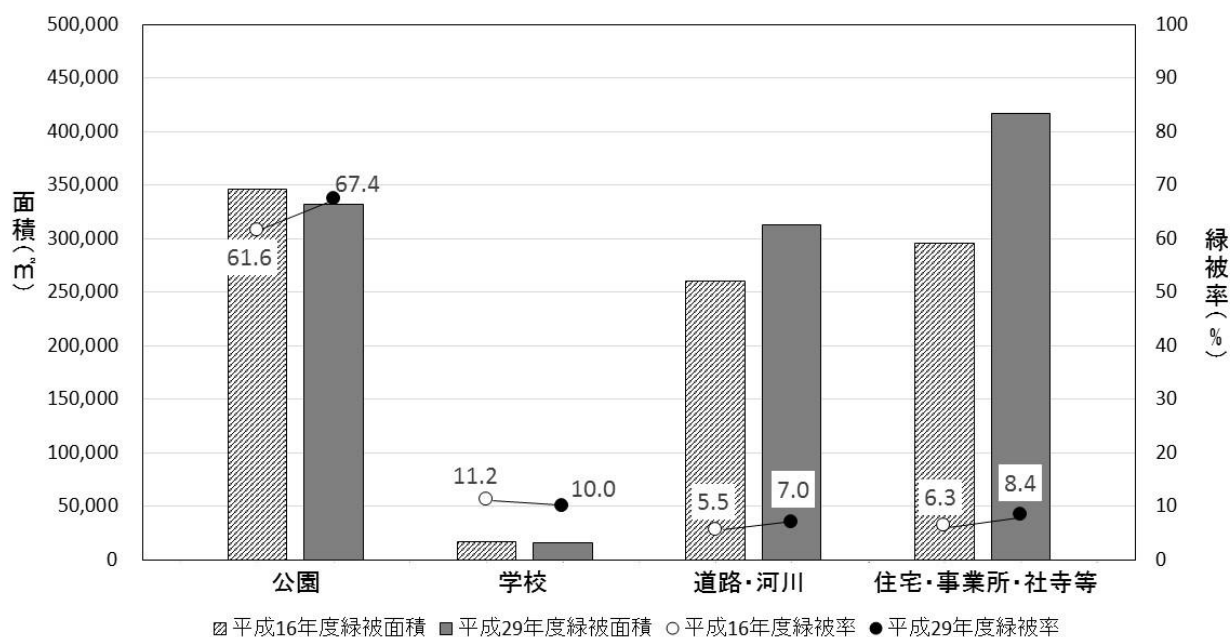


図3-18 土地利用別の緑被の推移